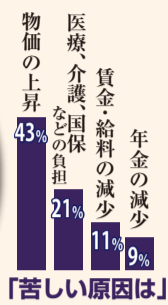
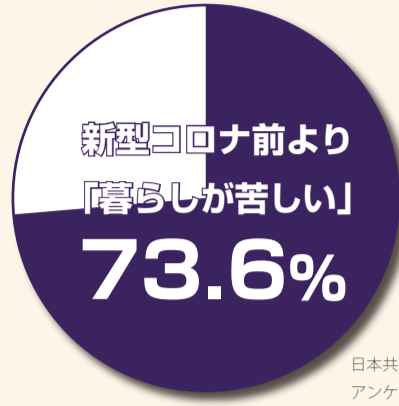


4月の選択
日本共産党
4→5人で

くらし応援第一の狛江に



日本共産党狛江市議団の市政アンケート結果より（回答数 633人）

「物価があがりスーパーで安売りしている弁当しか買うことができない(20代・正社員)」「給料変わらず、諸物価上昇、毎月の医療、介護料の負担が重い。赤字をいつまで持ちこたえられるか不安(60代・契約社員)」

日本共産党
市議予定候補



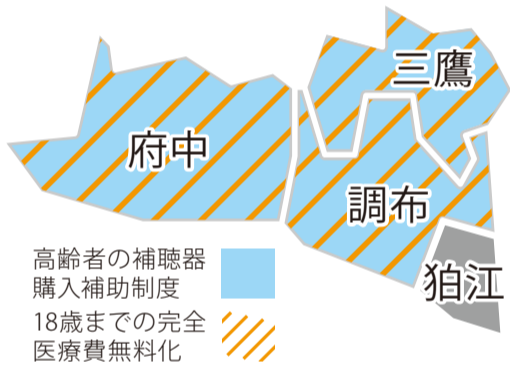
40年ぶりの物価高騰の中、悲痛な市民の声が相次いでよせられています。この声を無視して岸田政権と自民党、公明党がすすめる43兆円もの大軍拡・大增税に怒りが広がっています。こんな時こそ、狛江市は市民のくらし応援を守るべきです。

多摩地域初「第三子から無償化」実現 さらに前へ

学校給食無償化はすべての子どもに

いま、全国でも都内でも、子育て支援対策として学校給食費の無償化が進められ、おとなり世田谷区もふみだしました。日本共産党狛江市議団は2018年3月からくり返し給食費無償化を

要望。市民のみなさんの声におされ、多摩地域ではじめて、2023年度から第三子の学校給食費の無償化がスタートします(140世帯が対象)。さらに拡充し、完全無償化をめざします。



周辺自治体で次々 ただちに狛江でも

18歳までの医療費の完全無償化の実現を

都の事業として、制限つきの18歳までの医療費の無償化が実現。近隣市は独自に上乗せして所得制限をなくしています。狛江市でも完全無償化をめざします。

高齢者の補聴器購入費の補助制度の導入を

高齢者のみなさんから、補聴器が高すぎて買えないという声があがっています。東京都の補助金を活用して、市に補聴器の購入費助成制度をつくらせます。

防犯・防災 命をまもる

- 安心安全パトロールの強化
- 排水ポンプの早期設置、豪雨・地震災害対策の強化
- 狛江調布保健所の復活を

新型コロナ累計感染者数は、狛江市が人口当たりで多摩地域最多でした。狛江市含む6市104万人という保健所管轄を見直し、狛江調布保健所の復活で、感染症対策強化を。

市民の声を市政へ

- 国保税・介護保険料の負担を軽減
- 市民・事業者へ物価高騰対応の支援を
- 教職員の増員・30人学級実現
- 子どもの権利条約制定
- 市内小中学校に難聴学級を開設
- 人権条例生かし、ジェンダー平等実現へ
- ひとり親家庭・若者への家賃補助制度
- 気候危機打開へとりくみ促進
- バス路線の廃止・減便ストップ
- 中央図書館は現在地で充実を
- 南部地域の交通利便の改善

改善してきた市の財政 今こそ暮らしへ

くらしを守りながら、土地開発公社の借金48億円を含む100億円余の借金を返済した矢野市政。以来、長年の努力が実って、市民のために使える財政調整基金は20億円にも増えました。市の財政力は、市民のくらし支援に使わせましょう。

23億円も黒字に
(2021年度)

財政調整基金
20億円超

大軍拡・大增税 岸田政権と自民党・公明党の暴走にノーを



党 狛江市
生活教育相談室長
市議予定候補

荒木てつ

あらしき・徹

鈴木えつお議員から
バトンタッチ

狛江で育ち教師33年。子どもの自主性を尊重する教育、職場の労働環境改善にとりくんできました。不正を許さず、暮らしを守り、市民が主役の市政へ、鈴木えつお議員の仕事を引き継ぎ全力でがんばります。

【略歴】1962年生まれ●狛江三小、二中、桐蔭学園高校、東京理科大学大学院卒 ●都内私立学校で数学教師33年。職場の教職員組合を立ち上げ、委員長等を歴任●狛江探鳥会会員。平和憲法を広める狛江連絡会世話人●家族は妻と長女●防災士

<実現します>

豪雨・地震対策の強化
南部地域の交通不便地域をなくします

<活動地域>

猪方2・3・4丁目、元和泉全域、東和泉3・4丁目、駒井町3丁目、(水道道路以南の)岩戸南4丁目および駒井町1・2丁目